

令和6年6月4日

埼玉県サッカー協会
各種別委員会 各位
各種連盟 各位
関係各位

公益財団法人埼玉県サッカー協会 会長
鈴木 茂

熱中症事故防止対策の周知徹底について

謹啓 平素より本協会事業に格別なるご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

6月に入り日中の気温や湿度が徐々に増し、日射し(輻射熱)も厳しくなる季節になりました。近年の夏場における記録的な猛暑と気候状況は、サッカーやフットサルを始めとする身体活動をする上で、全ての関係者にとって大きな懸念事項になっています。

いかなる状況であっても、最重要事項はサッカーファミリー一人ひとりの安全と健康であり、そのために選手、指導者、審判員、競技運営者等全ての関係者が当事者意識と熱中症に対する正しい知識を持つことが大切です。そして、予防の啓発と注意喚起を周知徹底し、厳重な熱中症対策を講じることが必須であると考えております。

この度、2016年に作成された「JFA 熱中症対策ガイドライン」が改正され、試合の実施条件、熱中症発生時の対応規定(応急処置マニュアル)、クーリングブレイクや飲水タイムの設定回数なども修正・追記・変更となりました。今一度、当ガイドラインをお読みいただき、試合時のみならず、日々の練習時から徹底した対策を講じて下さいますようお願い申し上げます。

熱中症は、主に環境(暑さ)、カラダ(体調)、行動(運動強度)に起因すると言われています。よって、皆様方が開催される大会や事業活動において、WBGT値の適切な測定に基づき、キックオフ時間の変更やピッチ数の増加、1日の試合数などレギュレーションを柔軟に対応することや、また個人の体調管理(風邪や下痢の症状はないか、十分な食事や睡眠は摂れているかなど)を十分に把握し、本格的な暑さに馴れるまでの適切な暑熱馴化をするなどの事前対策も必要です。特に、U-12年代など、選手自身の判断だけでは難しい年代に対して、周囲の大人の注意深い観察と十分な指導をご考慮いただきますようお願い申し上げます。

最終的に、危険な状況下でのサッカー活動は躊躇なく中止・中断・延期の英断をすることが強く求められております。全てのサッカーファミリーの命を守る対策であることを十分に認識し、当ガイドラインの遵守にご協力下さいますようお願い申し上げます。

謹白

《参考資料》

■JFA 熱中症対策ガイドライン(2024/5/21 改正版)

https://www.jfa.jp/documents/pdf/other/heatstroke_guideline.pdf

■JFA 熱中症対策ガイドライン改正概要(イラスト付きスライド)

https://www.jfa.jp/documents/pdf/other/heatstroke_guideline_amendment.pdf

■JFA 熱中症対策ガイドライン(FAQ)

<a01b59efb8d3aff9954fe3b82e89e5d8.pdf> (fa-mie.jp)

■環境省:『熱中症予防情報サイト』

<http://www.wbgt.env.go.jp/heatstroke.php>